

オリーブ通信



せいしょのことば



しんあい

イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人とに愛された。

ルカによる福音書15章52節
神愛保育園

これからの保育園と「セツルメントの精神」について

保護者の皆様、あけましておめでとうございます。日頃より当園の保育運営にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

当法人(雲柱社)では、現在 2031 年までを見据えた「第三次中期事業計画」を進めしており、2026 年はそのちょうど折り返しの年にあたります。この節目にあたり、私たちが大切にしている想いと、これからの保育のあり方についてお伝えいたします。

変わりゆく社会と向き合う

これまで当法人は、待機児童問題に応えるべく、ひろば事業や夜間保育など、多様なニーズに合わせた事業を広げてまいりました。しかし現在、コロナ禍を経て少子化が急速に進み、保育業界全体で深刻な人手不足という大きな課題に直面しています。こうした厳しい社会情勢の中だからこそ、私たちは改めて法人の原点に立ち返る必要があると考えています。

私たちが大切にする「4つのP」

私たちの活動の根底には、創立者・賀川豊彦が 100 年前に実践した「セツルメントの精神」があります。それは、一人ひとりの人間性を尊重し、支え合う「善き隣人」としての姿勢です。この精神を現代の保育に活かすため、私たちは以下の「4 つの P」をキーワードに掲げています。

- Personality(人格交流): 心の通い合いを中心に据えます。
- Peace(平和): 平和を愛する心を育みます。
- Partnership(共生): 共に助け合い、生きる社会を目指します。
- Pioneer(開拓): より良い未来のために、自らを変革し挑戦し続けます。

子どもたちの未来のために

時代や価値観がどれほど変わっても、私たちの使命は変わりません。職員一人ひとりが、人間の尊厳を守り、研鑽を積みながら、お子様や保護者の皆様、そして地域の方々にとって「安心・安全な場所」であり続けるよう努めてまいります。

理想とする豊かな社会を、次代を担う子どもたちに手渡していくために。私たちはこれからも皆様と共に、未来に向けて一歩ずつ歩んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人雲柱社

理事長 小磯 満



2026 年も、子どもたちの幸せを願って保育に努めてまいります。今年もよろしくお願い申し上げます

神愛保育園職員一同



食事だより

★ 年末も食育活動をたくさん行いました ★

お芋ほりのさつまいもで
スイートポテト作り!



スponジケーキにクリームやフルーツでデコレーション♪

保育園全員分のおやつをつくりました！

クリスマスケーキ
作り!



作った子どもたちが、各クラスに届けて

担任が目の前で切り分けたケーキと一緒に食べました。



もちつきのお話（幼児クラス）

蒸かしたもち米をボールに入れて

綿棒でつきます



もちつき

もちの丸め方を聞いて、一人ひとつずつ鏡餅を作りました

年長さんが各クラスに出来上がった鏡餅をお届け!!

《おせち料理について》

『おせち料理』 新しい年をお祝いする料理です。

一つひとつに無病息災や、子孫繁栄などのおめでたい意味が込められています。

保育園で実施するメニューは 『五色なます』 がありますが、紅白の食材を使用し
お祝いの水引をかたどっていると言われています。（誕生会の献立がお正月料理です）

『七草』 人日の節句（1月7日）の朝に7種の野菜が入った粥を食べる風習です。



七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を
払うといわれました。そこで、無病息災を祈って
七草粥を食べたと言われています。

また、お正月のごちそうで疲れた胃腸を労わる
という意味も含まれているそうです。保育園では
1月7日(水)のおやつに七草粥を食べます。



あけましておめでとうございます

厳しくなる寒さのなか、新年が始まりました。昨年12月は中旬まで雨がほとんど降らない乾燥した晴れの日が続きました。乾燥注意報が連日出されて、加湿と保湿が必要な日々です。園では11月下旬からインフルエンザが流行し、園全体に拡がりました。インフルエンザだけでなく、冬に流行する感染性胃腸炎に対しても、換気・加湿など環境面。次亜塩素酸ナトリウム・アルコールを使った清掃。手洗い・うがいなど感染防止に努めていきます。

【視力検査】

園では11月に年中・1月にちゅうりっぷ組で視力検査をします。ランドルト環での測定に、環境が適さないため、森実式ドットカードを用います。ウサギの目が見えるかどうかで判断します。子どもたちはゲーム感覚で答えてくれます。あくまでも簡易検査なのですが、ご参考になさって下さい。
(江東区では3歳児検診でスコープを使った検査が実施されます。)



【胃腸症状がある時の水分】

嘔吐・下痢などの症状がある時には、食事には気を使う必要があります。嘔吐が続いている時には、水分のみを少しづつ摂られるといいでしょう。ジュースや牛乳を避けて、水やお茶・経口補水液にしましょう。嘔吐の後には口渴感が出るため、お子さんは一気に水分を欲しがります。沢山の水分は刺激的で嘔吐を繰り返すことがあるので、避けましょう。食事は蛋白質・食物繊維を避け、お粥・うどんなど水分の多い炭水化物から始めましょう。

ひだまり ～地域の親子と園児の交流～

新年あけましておめでとうございます。昨年80組を超える親子が遊びにきてくれました。子育て中のパパ、ママのほっとひと息つける、元気になれる「ひだまり」でありたいと思っています。今年もよろしくお願ひします。

これから寒さが厳しくなってくるので体調を気を付けていきたいですね。



ひだまりクリスマス会を12月6日に、ひまわり組で行いました。今年はひだまり利用者さんの協力のもと、パネルシアターと歌の伴奏をピアノで弾いてもらい、鈴、マラカスやカスタネットを持ち思い思いの音を伴奏に合わせて奏で楽しみました。クリスマスソングの連弾は圧巻でした。参加してくれたパパのサンタクロースも登場。子どもたちみんなにプレゼントを手渡してもらいました。



これから感染症など増えてくる時期ではありますが、対策をしながら、園児との関わりを少しづつ増やしていけたらと思っています。



ともにそだつ



私たちは、保護者の皆さんと共に子育てをしています。
園の中での子どもの様子を伝え、子どもの育ちを共に考え、
喜びを共有したいと願いながら、この保育日誌紹介のコーナーを
設けています。ともに子どもから学んでいきましょう。

2025年12月2日(火) 天気 曇り時々晴れ つくし組(0歳児)

「ことばにならないことば」

お昼前、AがBを押してしまい、Bの気持ちが崩れた。そばで見ていた大人が、「お友だち押されたら嫌だよ」と伝えると、Aは先ほどまでのハイテンションとは違い、表情が暗くなった。その後別の大人が「Aも一緒に遊びたかったの?」と問い合わせると、Aは涙を流した。Aなりに『遊びたい』という思いがあったことが分かり、その思いを汲み取りながら関わっていくことが大切だと感じた。

この日誌はつくし組の様子を書いたものです。Aは、Bのことを押してしまい、その様子を傍で見ていた大人がBの姿から気持ちを代弁して伝えたところAの表情が一変しました。その後、別の大人がAに対して「一緒に遊びたかったの?」と声をかけると、自分の気持ちを理解してくれたことへの安堵感だったのでしょうか、涙を流したそうです。

0歳児の子どもたちは、移動手段の獲得によって周囲への関心が生まれ信頼できる大人とのやりとりやあそびが始まり、こうした変化、発達を基盤にことばは生まれ、育っていきます。今回のAやBのように0歳児のことばにならない感覚や気持ちをことばにして返すことは、子どもの情緒の安定につながります。ことばにならないものを受け止めてもらい、「〇〇ね」と返してもらうことで、“自分の気持ちがわかってもらっている”と感じ、安心することができます。そして大人が「楽しかったね」「痛かったね」と共感とともに言語化して伝えていくことで、子どもはその状態を表す言葉や表現を学んでいきます。

改めて今回の日誌の関わりから、0歳児の『ことばにならないことば』の時期の大人のことばがけ、応答の大切さを感じました。



「深川小学校 音楽会へ」

今日は深川小の音楽会に年長のみで参加した。八名川小には(キッズ八名川のイベント等で)何度か行く機会があったが、深川小は初めての子もいるので少し緊張した表情で行く子が多かった。音楽会のリハーサルが行われる体育館に行くと、昨年のひまわり組年長だった卒園児のA、B、C、D、E、Fの6名がいて、(現在年長の)GやHは嬉しくなってしまい声をかけながら手を振るが、1年生になった卒園児たちは手を振るのもためらいながらも(お互いうれしい気持ちを持っているので)振ってくれた。1年生になった先輩たちである卒園児の歌や鍵盤ハーモニカの演奏がとても素敵だったのでI、J、K、L、Mは真剣に聞いて素晴らしさを言葉にして感動していた。N、Oは興味がない様子で集中せず、他園の子どもたちなど他のことに興味や関心をもっていた。年長児の子どもたちの中には、自分たちのたちの来年の姿、1年生になった時のこと想像しながら楽しみにしている様子があった。

年長児5歳児の日誌です。先日、深川小学校の音楽会に参加した際の日誌から、子どもたちの気持ちやその様子が手に取るように伝わってきました。年長ひまわり組の園生活も残りわずかとなり、子どもたちの心の中には今、二つの大きな気持ちが同居しているようです。初めて中に入る校舎を前に、少し緊張した表情で歩く子どもたち。その姿からは、「小学校ってどんなところだろう?」「仲良しの友達と離れて大丈夫かな?」という、この時期ならではの、言葉にならない「小さな不安」が緊張している子どもたちの姿から感じられました。

しかし、体育館で1年生(昨年度の卒園児)が奏でる素晴らしい合奏や歌声に触れた瞬間、子どもたちの瞳はパッと輝いたのでしょう。真剣な眼差しで演奏に聴き入り、「すごい!」「あんな風に演奏できるようになりたい」と口々に感動している姿は、まさに新しい世界への「憧れ」に満ちていました。自分たちも、あのお兄さん・お姉さんのようにになりたい。そんな前向きな期待が、少しずつ不安を勇気に変えていく機会になったと思います。

神愛保育園では、4・5歳児はひまわり組として一緒に過ごしています。一緒にすごした先輩卒園児の姿が、子どもたちにとって就学への安心感の一つになっていることをこの時期、毎年訪れる小学校との交流の中で感じます。このことは、年齢の違う子どもたちが一緒に過ごすことで、知っている人がいる、大きくなるってこういうことなのかと知ることができることで、不安になりがちな小学校就学へのハードルが少し下がる良い面の一つであると考えています。

これから寒い冬を、新しい門出に対しての憧れの気持ちを大切に育み、様々な気持ちや思いを持つ子どもたちの不安に寄り添いながら、自信を持って4月の春を迎えられるよう、応援してまいりたいと思います。





❀★❀★❀★❀★ 小学1年生の同窓会がありました ❀★❀★❀★❀★

12月20日（土）、昨年度卒園した子どもたちが保育園に遊びに来てくれました！13名全員揃うのは久しぶりで、大盛り上がりでした！保育園の頃に呼び合っていた愛称で子どもたちが話していく、あの頃に戻ったようで微笑ましかったです。「もう卒園して半年も経つんだ…」としみじみと感じながら、子どもたちの笑顔を見てることができて嬉しかったです！ご参加ありがとうございました！

★名前★小学校名★好きな授業

を発表しました♪



ひらがなbingoを楽しんだ
後はお菓子を食べました♪

